

令和7年9月中間期 損保決算概況について

1. 保険引受の概況

(1) 正味収入保険料

正味収入保険料は、商品・料率改定の影響による自動車保険や火災保険の增收などにより、前中間期(令和6年9月中間期)に比べ3.2%(1,563億円)増加して5兆493億円となりました。

(2) 正味支払保険金、損害率

正味支払保険金は、2024年1月に発生した能登半島地震に係る地震保険の支払いが収束に向かっていることや、国内の自然災害の減少に伴う火災保険の支払いの減少などにより、前中間期に比べ△3.2%(△898億円)減少して2兆6,870億円となりました。

損害率は、前中間期に比べ△3.3ポイント低下して59.2%となりました。

(3) 事業費、事業費率、コンバインド・レシオ

保険引受に係る営業費及び一般管理費は、前中間期に比べ1.4%(99億円)増加して6,927億円となりました。

諸手数料及び集金費は、前中間期に比べ△0.6%(△51億円)減少して8,595億円となりました。

これらを合計した事業費は前中間期に比べ0.3%(48億円)増加し、事業費率は前中間期に比べ△0.9ポイント低下して30.7%となりました。

損害率と事業費率を合計したコンバインド・レシオは、前中間期に比べ△4.2ポイント低下して89.9%となりました。

(4) 保険引受利益

以上の増減益要因に、その他の保険引受収益および保険引受費用を加減算した保険引受利益は、前中間期に比べ2,307億円増益となり3,076億円となりました。

2. 資産運用の概況

資産運用収益は、有価証券売却益の減少(△956億円)などにより、前中間期に比べ△5.8%(△840億円)減少の1兆3,775億円となりました。

資産運用費用は、有価証券売却損の減少(△239億円)などにより、前中間期に比べ△37.5%(△497億円)減少して829億円となりました。

資産運用収益から資産運用費用を差し引いた資産運用粗利益は、前中間期に比べ△2.6%(△344億円)減少の1兆2,946億円となりました。

3. 経常利益・中間純利益

経常利益は、保険引受利益の増益により、前中間期に比べ13.7%(1,859億円)増益の1兆5,431億円となりました。

経常利益に特別損益や法人税等合計を加減算した中間純利益は、前中間期に比べ8.5%(911億円)増益の1兆1,615億円となりました。

4. 総資産

総資産は、令和6年度末に比べ2.8%(8,977億円)増加して33兆1,327億円となりました。

以上